

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.38 2024年10月15日
フォーラム青森
〒030-0802
青森市本町3丁目3番11号
青森県平和労組会議気付
forum-ao2021@outlook.jp
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)



代表 藤田まこと

衆議院選挙に向けて

社民フォーラム青森 代表 藤田まこと

会員の皆さん、お元気で活動されていますか。

この間会員の皆様には、十分な活動ができるような様々な支援ができていない状況の中、地域でフォーラムの理念の実現のため、ご努力を頂いていることに感謝申し上げます。

さて、私たちが長い間待ち望んでいた、衆議院が解散され総選挙になりました。

私たちは、理念実現のため、立憲民主党と共に歩む事にしました。

この選挙は、自民党の横暴な政治から、国民本位の「まっとうな政治」を取り戻す、絶好のチャンスです。

石破総理の所信表明演説や党首討論を見聞きして、自民党総裁選までの、石破さんの信念は何処に行つたのか、岸田元総理の操り政権になって、これまでと同様大企業を優先し、企業から寄付金を頂き、企業中心の裏金政治が続くことになります。

立憲民主党は東北6県に、宮城5区、山形2区、青森2区を除く18区の小選挙区に公認候補者を擁立しました。

各地区とも選挙区での優勢が伝えられています。

青森県では、1区に「升田世喜男」、3区「岡田はなこ」の公認候補、青森2区では「松尾和彦」さんが、無所属での出馬になります。立憲民主党が全面支援を行う選挙になります。

各選挙区で、これまでの政治を変えなければ、地方の疲弊が進む事に青森県民に目覚めてもらう選挙でもあり、フォーラム会員が総力を挙げて、選挙戦に臨んで頂くようお願い申し上げます。

本日(15日)は衆院選告示日

自民党総裁についた石破茂首相は、首相就任前にも関わらず10月15日告示・10月27日投票の衆議院解散を宣言しました。

社民フォーラムも準備は急ですが、立憲の選対や平和労組の地本などと協議しながら、支援候補の勝利に向け、取り組みをお願いします。ポスター掲示、街宣行動、支持者まわり、：やれることをやりきろう。(佐藤)

被爆ノーベル平和賞

ノルウエーのノーベル委員会は、10月11日、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)にノーベル平和賞を授与すると発表した。「現在進行中の戦争で核兵器を使用するとの脅迫がされている」という受賞理由のことだ。

受賞の知らせに同席していた高校生平和大使たちがまぶしい。署名活動や行動で、「私たちは微力だけれど、無力ではない」と訴える。来年は被爆80周年。取り組みを強めよう。(佐藤)

経過報告

- 7/20 フォーラム青森通信 NO.37 配信
- 7/20 アイ女性会議県本部大会
- 7/21 第16回大間原発反対現地集会
- 7/29 原水禁三八地区集会
- 8/3~6 原水禁世界大会(広島)
- 8/22 社民フォーラム青森第1回幹事会
- 8/22 浮島丸追悼記念日
- 8/24、25 原爆写真展(八戸)
- 9/7 やめるべ、大間原発! さようなら 原発青森・北海道合同集会
- 9/21 フォーラム青森議員団会議(八戸)
- 10/5 八戸支部第2回幹事会
- 10/8 社民フォーラム東北ブロック役員会
- 10/11 青森支部役員会

※7/20以降、約3ヶ月「フォーラム青森通信」を発行できませんでした。お詫びします。この間、むつ下北支部の「社民フォーラムしもきた」は毎月定期的に発行されています。見習いたいと思います。(佐藤)

政権交代で政治を変えよう！

社民フォーラム東北役員会報告

事務局長・原子秀夫

10月8日、東北役員会が開催された。東北6県のうち山形県が欠席となったが、中央フォーラムから中川事務局長も出席して行われた。

会議の冒頭、東北ブロック代表（秋田県石田県議）から挨拶があった。その概要は、立憲に合流してから3年が経過した。当初は立憲の選挙手法、党運営の違いなどで戸惑いながらの活動が続いてきたが、改善を求めると徐々に組織的な運営になっている。また、県連合の役員に議員以外も就任するなど改善が図られているほか、支部の創設が運営規則の制約があり前に進まない状況にあったが他県では、任意の支部が設置されるなど、その設置手法などを参考にして支部組織の拡大を図っていきたい。いま、自民党の裏金問題で有権者の不満が高まっている。まさに政権交代の大きなチャンスだ。小選挙区での勝敗も重要だが、比例票の獲得が議席数に反映される。これまで比例区選挙を意識した活動が希薄だったので、比例の取り組みも重要だ。この選挙、フォーラムの活動強化をお願いしたい、と述べた。

続いて、中央フォーラム中川事務局長から挨拶を受けたが、政局の動向が早すぎてマスコミ報道以上の情勢を持ち合わせていない。ただ、9月26日全国交流会で解散総選挙を闘う意思統一を行ってきた、と述べた。

次に、田山事務局長から東北各県の立候補予定一覧が示され、その後①大衆運動の連携の現状、②立憲民主党との合流後の組織活動の現状、③衆議院総選挙に向けた各県の情勢、というテーマで各県における取組の突き合わせが行われた。

①では、各県ともに反原発・原水禁、護憲運動を行っていること、②③では、各県とも従来の立憲各県連合における運営を改善するため、任意の支部創設など創意工夫した取り組みが行われている、との報告が述べられた。

最後に、政権交代を実現するため東北各県が総選挙に全力を挙げることを確認して散会した。

升田世喜男(一区・公認)

ますだ せきお



昭和32年中泊町（旧小泊）生まれ。木造中学校⇒木造高等学校⇒拓殖大学（中退）⇒小泊村議・3期⇒青森県議会議員・2期⇒衆議院議員・1期

■時間を見つけては小泊に向かいます。みんな笑顔で迎えてくれます。しかし膝を交えれば厳しい現実を訴えてきます。■歩き、語り、触れ合う。ふるさとが教えてくれる。■すべては青森のために。

松尾和彦(二区・推薦)

まつお かずひこ

昭和38年三戸町生まれ。三戸高等学校⇒青森大学経済学部⇒参議院副議長・秘書官⇒青森県議会議員4期⇒三戸町長2期



■地域経済の活性化と雇用創出■農業・漁業の支援と発展■観光振興とインフラ整備■医療・福祉の充実■教育環境の整備■郵便ネットワークの利活用

【妻、長男、次男、長女、母】

【好きな食べ物：納豆・豆腐・ラーメン】

岡田はなこ(三区・公認)

おかだ はなこ



昭和55年弘前市福村生まれ。みのり保育所⇒福村小学校⇒東中学校⇒弘前高校⇒北海道大学法学部⇒広島大学法科大学院⇒企業内弁護士
夫、7歳3歳のムスコたちと日々わちゃわちゃ暮ら

しています。

人口減少、社会保障制度破綻、格差拡大、不登校・教員休職過去最多 etc

ずっと議論されているのになかなか変わらない。政治ニュースは裏金と利権ばかり。

次の世代への責任を果たしたいという気持ちで政治に挑戦です。